

子や孫の世代に真の環境浄化された地球を残したい！

微生物が地球を救う！

農作環境支援事業

環境負荷低減とは

環境負荷低減とは、微生物（菌）を否定しないこと。

環境浄化における薬剤の使用は、見た目綺麗な環境汚染や自然破壊に繋がり、結果、残るのは産業廃棄物です。

農業における農薬、化学肥料の使用も環境に同様に、環境、自然破壊だけでなく、土地は痩せ、健康被害にまで及びます。

そして、F2、F3になると雌しか生まれなかったり、遺伝子異常の子どもしか生まれなくなることは、動物実験によって検証されています。

農業における薬害リスク (イメージ)



実証例①

キャベツ苗（熊本県） 根張りが違う（800倍液）



実証例②

稲の苗

ほとんどの苗が
根の方が長く
成長していた。

稲刈時に、
「竹のような稲」
との評価。
しっかりしている。



実証例③

ケールの成長の差（京田辺市、25日間、連作障害なし）
1/500液（左、35Cm）、水道水（右2つ、11Cm）

